

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report
AICHI Infectious Diseases Monthly Report

2024年24週 (6月2週 6/10~6/16)

2024年5月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansentop.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

◇トピックス

手足口病、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症、劇症型溶血性レンサ球菌感染症

◇病原体検出情報

◇定点医療機関コメント

手足口病、A群溶血性レンサ球菌感染症、COVID-19等

◇全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(19)、腸管出血性大腸菌感染症(2)、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)(1)、レジオネラ症(4)、アメーバ赤痢(2)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(2)、急性脳炎(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(3)、後天性免疫不全症候群(5)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(2)、侵襲性肺炎球菌感染症(8)、水痘(入院例に限る。)(1)、梅毒(16)、百日咳(2)

◇2024年5月報

◇定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆ 手足口病 (図1) 【6月20日警報発令】

24週の定点当たりの報告数は5.12と警報レベル(定点あたり5.0)を超えたため、愛知県は警報を発令しました。23週743人→24週932人(1.25倍)です。

【参考ページ】手足口病警報を発令します!! (6月20日発表)

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/hfmd2024.html>

手足口病に注意しましょう

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/hfmd2013.html>

◆ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (図2)

24週の定点あたり報告数は3.47、23週677人→24週632人(0.93倍)です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html

◆ ヘルパンギーナ

24週の定点あたり報告数は0.77、23週105人→24週140人(1.33倍)です。

◆ RSウイルス感染症

24週の定点あたり報告数は0.92、23週239人→24週168人(0.70倍)で、3歳未満(0歳60人、1歳54人、2歳25人)の報告が全体の82.7%を占めています。

◆ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (図3)

愛知県の2024年24週までの累積報告数(診断週集計、2024年6月19日現在)は71件です。2023年24週までの累積報告数は32件、2023年総報告数は57件でした。全国の2024年23週までの累積報告数は1,019件です(全国の2023年総報告数は941件)。

【参考ページ】国内における劇症型溶血性レンサ球菌感染症の増加について(3月29日)(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/group-a-streptococcus-m/2656-cepr/12594-stss-2023-2024.html>

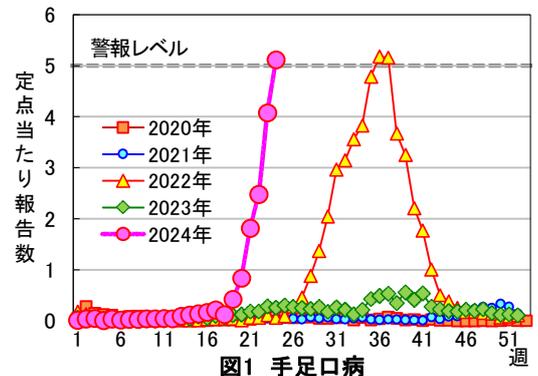


図1 手足口病

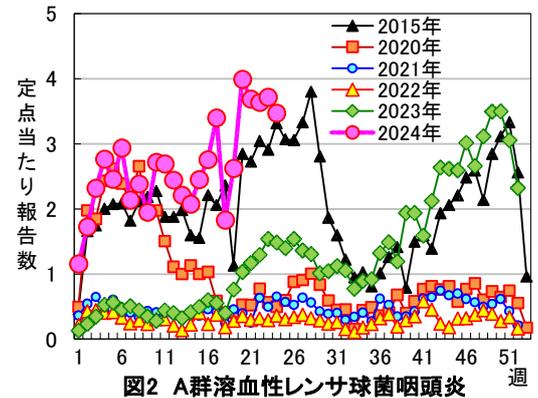


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

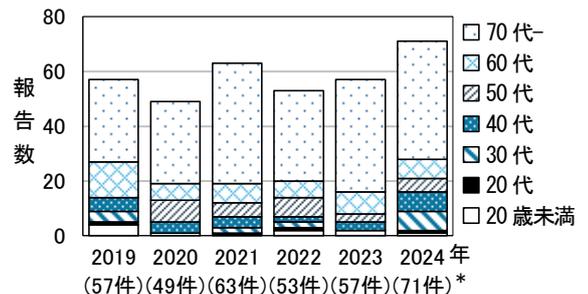


図3 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の年齢層別報告数

(愛知県、診断週集計、*2024年6月19日現在)

病原体検出情報 —2023年疾患別ウイルス検出速報— (2024年6月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	インフルエンザ	麻しん・風しん
								2023/2024 シーズン	
患者数	76	20	40	25	-	17	5	404	20
CV-A2	1	-	19	-	-	1	-	-	-
CV-A4	-	-	11	-	-	-	-	-	-
CV-A6	-	4	1	-	-	-	-	-	-
CV-A10	-	2	-	-	-	-	-	-	-
CV-A16	-	3	-	-	-	-	-	-	-
EV-71	-	7	-	-	-	-	-	-	-
CV-A9	-	-	1	-	-	1	-	-	-
CV-B5	2	-	2	-	-	4	-	-	-
HRV	-	3	2	-	-	1	-	-	1
HPeV-3	1	-	-	-	-	1	-	-	-
Flu AH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	67(5)	-
Flu AH3	-	-	-	-	-	-	-	184(3)	-
Flu B	-	-	-	-	-	-	-	23(21)	-
Flu B(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	81	-
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	2
HPIV-3	-	-	-	-	-	-	-	-	2
RV-A NT	2	-	-	-	-	1	-	-	-
NV-GII	25	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	11	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	1	-	-	2	-	-	-	-	-
Ad-2	3	-	-	4	-	1	-	-	-
Ad-3	2	-	-	13	-	-	-	-	-
Ad-5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	2	-	-	-	-	-	-	-	-
検査中	-	-	-	-	-	-	-	42	-
陰性	29(1)	4	4	6	-	9	5	7	15

()内の数は前回の情報からの増加分を示す(再掲)

インフルエンザは2023/2024シーズン(23年9月~)の結果

麻しん・風しんの数は病原体定点医療機関外からの患者数及びウイルス検出数を含む

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、CV: コクサッキーウイルス、EV: エンテロウイルス、

Flu AH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、Flu AH3: A香港型インフルエンザウイルス、

Flu B: B型インフルエンザウイルス(未型別)、FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、

HRV: ヒトライノウイルス、HPeV: ヒトパレコウイルス、HPIV: ヒトパラインフルエンザウイルス、MeV: 麻しんウイルス、

NV: ノロウイルス、RV: ロタウイルス、SV: サポウイルス

病原体検出情報 —2024年疾患別ウイルス検出速報— (2024年6月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	インフルエンザ	麻疹・風疹
								2023/2024 シーズン	
患者数	24	11(3)	2	1	-	4	3(1)	404	15
HRV	-	-	1	-	-	-	-	-	1
Flu AH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	67(5)	-
Flu AH3	-	-	-	-	-	-	-	184(3)	-
Flu B	-	-	-	-	-	-	-	23(21)	-
Flu B(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	81	-
NV-GI	1	-	-	-	-	-	-	-	-
NV-GII	11(4)	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	3	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-3	-	-	-	1	-	-	-	-	-
HSV-1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
検査中	3	10	-	-	-	3	2	42	1
陰性	6	1	-	-	-	1	1	7	13(9)

()内の数は前回の情報からの増加分を示す(再掲)

インフルエンザは2023/2024シーズン(23年9月~)の結果

麻疹・風疹の数は病原体定点医療機関外からの患者数及びウイルス検出数を含む

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、

Flu B: B型インフルエンザウイルス(未型別)、FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、

HRV: ヒトライノウイルス、HSV: 単純ヘルペスウイルス、NV: ノロウイルス、SV: サボウイルス

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- マイコプラズマ肺炎 5歳男 1名
【一宮市 さかたこどもクリニック】
- covid-19 4名
手足口病 17名
溶連菌感染症 5名
アデノウイルス感染症 1名
手足口病 急増しています。
covid-19は増えてきています。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- RS 10例、アデノ 1例、GAS 9例、
HFMD 4例、ヘルパンギーナ 7例
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- コロナ・インフルエンザは0、手足口病が47名と多かったです。溶連菌は29名。
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- 手足口病 7例（1歳、2歳）
【犬山市 くわばらクリニック】
- COVID-19 6名
溶連菌感染 1名（6歳）
手足口病 2名（1歳、5歳）
【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

- COVID-19 成人2名
手足口病 流行中
ヘルパンギーナもみられます。
溶連菌も散発ですが持続しています。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- covid-19 17名
【日進市 みやがわクリニック】
- 溶連菌、手足口病 多数
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- COVID-19 3名
溶連菌 1名
感染性胃腸炎 2名
手足口病 1名
【南知多町 医療法人大岩医院】
- 該当者なし
【常滑市 常滑市民病院】
- 溶連菌感染が多い
【大府市 みどりの森クリニック】

西三河地区

- covid19 1例のみ
手足口病が急増してます。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- COVID-19 2名
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
- 溶連菌感染症が流行しております。
【碧南市 永井小児クリニック】

東三河地区

- RSが増えてきました。
【豊橋市 かわい小児科】
- マイコプラズマ肺炎 48歳女
(先週分)病原大腸菌O1 2歳男
病原大腸菌O126 3歳男
【蒲郡市 畑川クリニック】
- [5月報 STD 定点コメント]
- マイコプラズマ尿道炎 3例
マイコプラズマ子宮頸管炎 1例
【豊橋市 古島クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2024年6月19日現在						
一類～三類感染症						
<関連リンク> 届出基準 https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jyun230925.pdf						
● 結核（二類感染症）						
報告保健所	2024年24週報告数			2024年総計(1～24週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	8	1	3	160	41	42
豊田市				12	2	6
豊橋市				25	5	10
岡崎市	2	1		10	2	2
一宮市	1		1	34	7	13
瀬戸	2		1	35	11	10
半田	1		1	18	2	8
春日井	2			26	3	6
豊川				14	2	4
津島	1			30	3	9
西尾				7	1	1
江南	1		1	17	3	3
新城	1			1		
知多				20	3	9
清須				12	2	3
衣浦東部				28	8	5
合計	19	2	7	449	95	131

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）							
番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	豊田市	50歳	男	6/3	6/8	6/12	○157、VT型不明
2	知多	85歳	女	-/-	6/10	6/14	○157、VT型不明

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）						
● 重症熱性血小板減少症候群（四類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路		
1	豊川	72歳	女	動物・蚊・昆虫等からの感染		
● レジオネラ症（四類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域	
1	岡崎市	72歳	女	肺炎型	国内	
2	一宮市	79歳	男	肺炎型	国内	
3	一宮市	88歳	男	肺炎型	国内	
4	豊川	69歳	男	肺炎型	国内	
● アメーバ赤痢（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	86歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内
2	豊田市	32歳	男	腸管アメーバ症	経口	インド
● カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	94歳	女	以前からの保菌	国内	無
2	津島	86歳	男	以前からの保菌	国内	無
● 急性脳炎（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域	
1	衣浦東部	2歳	女	病原体不明	国内	
● 劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	血清群	感染地域	
1	半田	75歳	女	A群	国内	
2	春日井	46歳	男	A群	国内	
3	江南	87歳	男	G群	国内	
● 後天性免疫不全症候群（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	37歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	46歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	39歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
4	名古屋市	52歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
5	名古屋市	25歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
● 侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域	
1	一宮市	88歳	女	不明	国内	
2	瀬戸	74歳	男	不明	国内	

● 侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域	
1	名古屋市	68歳	女	無	国内	
2	名古屋市	1歳	男	有（追加接種有）	国内	
3	一宮市	88歳	女	不明	国内	
4	江南	5歳	女	有（追加接種有）	国内	
5	衣浦東部	2歳	女	不明	国内	
6	衣浦東部	1歳	男	有（追加接種有）	国内	
7	衣浦東部	60歳	男	不明	国内	
8	衣浦東部	78歳	女	不明	国内	
● 水痘（入院例に限る。）（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域	
1	江南	4歳	男	無	国内	
● 梅毒（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	37歳	男	早期顕症	不明	不明
2	名古屋市	49歳	男	無症候	性的接触	国内
3	名古屋市	31歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	名古屋市	26歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	名古屋市	32歳	男	早期顕症	性的接触	国内
6	名古屋市	38歳	男	無症候	不明	国内
7	名古屋市	21歳	女	早期顕症	性的接触	国内
8	豊田市	41歳	男	早期顕症	性的接触	国内
9	豊橋市	34歳	男	無症候	不明	不明
10	一宮市	59歳	女	早期顕症	性的接触	国内
11	一宮市	27歳	男	早期顕症	性的接触	国内
12	瀬戸	41歳	男	早期顕症	性的接触	国内
13	春日井	86歳	女	無症候	母子感染	国内
14	清須	48歳	男	無症候	性的接触	国内
15	衣浦東部	49歳	男	早期顕症	性的接触	国内
16	衣浦東部	40歳	男	早期顕症	性的接触	国内
● 百日咳（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等	
1	津島	31歳	女	不明	国内	
2	清須	35歳	女	不明	国内	

2024年5月報 (2024年6月17日現在、診断週(新型コロナウイルス感染症は報道発表日)に基づく集計)

5月の一～五類、新型インフルエンザ等感染症(全数把握対象)発生状況 [()は無症状病原体保有者再掲]

2023～2024年に報告のあった 疾病名及び病型 () 内は全数把握対象疾病数		2024年5月			2024年	<参考>2023年		
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	1-5月 累計 <愛知県全体>	1-5月 累計 (昨年掲載値) <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>	
一類 (7)	【対象となる7疾病】	0	0	0	0	0	0	
二類 (7)	結核	64 (16)	26 (7)	90 (23)	402 (112)	389 (134)	1,029 (340)	
新型コロナウイルス エンゲ等 (4)	新型コロナウイルス感染症 *	-	-	-	-	276,991	276,991	
三類 (5)	細菌性赤痢	1 (0)	0 (0)	1 (0)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	
	腸管出血性大腸菌感染症	12 (2)	1 (0)	13 (2)	37 (9)	17 (6)	153 (37)	
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	
四類 (44)	E型肝炎	0	3	3	8	2	8	
	A型肝炎	2	0	2	2	1	2	
	エムポックス **	0	0	0	0	2	4	
	オウム病	0	0	0	0	0	1	
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	0	0	1	
	つつが虫病	0	0	0	1	2	27	
	デング熱	1	2	3	7	3	11	
	日本紅斑熱	2	1	3	3	1	9	
	マラリア	0	0	0	0	2	2	
	ライム病	0	0	0	0	0	1	
	レジオネラ症	14	2	16	40	28	145	
	レプトスピラ症	0	0	0	0	1	3	
	五類 (24)	アメーバ赤痢	0	4	4	13	17	33
		ウイルス性肝炎	1	1	2	3	6	10
内訳		B型	0	0	0	1	3	6
		その他	1	1	2	2	3	4
カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感染症 **		12	5	17	59	65	167	
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)		0	0	0	1	0	1	
急性脳炎		3	0	3	12	16	49	
クリプトスポリジウム症		0	0	0	0	0	1	
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	0	1	1	2	8	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		10	7	17	67	30	57	
後天性免疫不全症候群		0	4	4	23	38	85	
内訳		無症候性キャリア	0	2	2	14	25	56
		AIDS	0	2	2	8	13	28
		その他	0	0	0	1	0	1
ジアルジア症		0	0	0	2	0	0	
侵襲性インフルエンザ菌感染症		5	0	5	26	15	45	
侵襲性髄膜炎菌感染症		0	0	0	1	0	1	
侵襲性肺炎球菌感染症		19	6	25	116	69	150	
水痘 (入院例に限る。)		2	1	3	16	12	32	
梅毒		42	34	76	326	360	822	
内訳		無症候	10	6	16	88	94	214
		早期顕症	32	27	59	229	260	590
		晚期顕症	0	1	1	9	4	11
		先天梅毒	0	0	0	0	2	7
播種性クリプトコックス症	1	0	1	5	5	11		
破傷風	2	0	2	4	0	8		
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	2	3		
百日咳	4	1	5	14	13	42		
風しん	0	0	0	1	0	0		
麻疹	0	0	0	2	0	2		
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	3	3		
総 計		198	98	296	1,201	278,094	279,919	

* 2023年5月8日に「新型コロナウイルス感染症」の位置付けがCOVID-19として5類感染症の定点把握に変更されたため、上記表には2023年5月7日分までを計上しています。

** 2023年5月26日から以下の2疾病について、届出基準及び届出様式が改正されました。
(改正前)サル痘→(改正後)エムポックス、(改正前)カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症→(改正後)カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2024年5月			2024年 1-5月 累計		<参考>2023年					
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体 合計		愛知県全体 合計		愛知県全体 合計			
				1-5月 累計 (昨年掲載値)	1-5月 累計 (昨年掲載値)	1-5月 累計 (昨年掲載値)	1-5月 累計 (昨年掲載値)				
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	39	102	141	690	1,042	585	922	1,436	2,281
		女	41	28	69	352		337		845	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	19	54	73	255	483	178	322	431	830
		女	24	29	53	228		144		399	
	尖圭コンジローマ	男	12	50	62	255	313	127	176	338	471
		女	5	4	9	58		49		133	
	淋菌感染症	男	17	40	57	333	409	268	325	690	818
		女	12	2	14	76		57		128	
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		58	8	66	330		293		789	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		3	1	4	21		12		40	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	2		0		0	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2023年5月8日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症
三類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が不高い、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起しうる感染症
四類感染症 (44疾病)	人から人への感染はほとんどないが、動物、飲食物等の物件を介して感染するため、動物や物件の消毒、廃棄などの措置が必要となる感染症
五類感染症 (49疾病)	国が感染症発生動向調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を一般国民や医療関係者に提供・公開していくことによって、発生・拡大を防止すべき感染症
新型インフルエンザ等感染症 (4疾病)	<p>【新型インフルエンザ又は新型コロナウイルス感染症】 新たに人から人に伝染する能力を有することとなったウイルスを病原体とする感染症であって、一般に国民が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。</p> <p>【再興型インフルエンザ又は再興型コロナウイルス感染症】 かつて世界的規模で流行した感染症であってその後流行することなく長期間が経過しているものとして厚生労働大臣が定めるものが再興したものであって、一般に現在の国民の大部分が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。</p>
指定感染症	既知の感染症の中で、前記一～三類に分類されない感染症において一～三類に準じた対応の必要が生じた感染症(政令で指定、一年限定)
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既知の感染症と症状等が明らかに異なり、その伝染力及び罹患した場合の重篤度から判断した危険性が極めて高い感染症

* 2023年5月8日に「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」の位置付けが5類感染症の定点把握に変更されました。

グラフ総覧

2024年24週(6月10日～6月16日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から2024年24週までの定点(インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹)当たり報告数のうち、本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> *ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

